



HEMARAJ NEWS

ヘマラートニュース <http://www.hemaraj.com>

vol.21

ヘマラート・エネルギー社とガルフ・エネルギー・ディベロップメント社 ヘマラート工業団地での屋上ソーラー発電 プロジェクト6件のために合併会社を設立

ガルフ・ソーラー社によるプロジェクトの総発電容量は、598・25kWpに達します。最初の2件のプロジェクトは現在、ヘマラート・チョンブuri工業団地（ヘマラートCIE）において試運転中です。



ヘマラート・ランドアンドディベロップメント株式会社は、環境保護を目的として再生可能なエネルギー源を開発するための取り組みに合わせて、6件の屋上ソーラー発電プロジェクトのために、タイにおける大手電力開発会社であるガルフ・エネルギー・ディベロップメント（GED）社と提携関係を結びました。

パートナとなった両社は、共同でガルフ・ソーラー株式会社を設立しました。同社はヘマラート・エネルギー社が株式の25・01%、GEDが残る74・99%を所有する合併会社です。発電した電力は、地方配電公社（PEA）に販売されます。

最初の3つのソーラー・ユニットは、現在ヘマラート・チョンブuri工業団地およびヘマラート・イースタン・シーボード工業団地で試運転段階に入っています。これらのユニットの発電容量は、それぞれ72kWp、57・75kWp、126・50kWpとなっています。

「ヘマラート社は、環境に優しいクリーンなエネルギーを生産できることを誇りに思っています。温室効果の低減に役立つことに加えて、ソーラー・エネルギーは騒音公害を発生させない安全性を備えています。発電された電力はすべて蓄電して使用できるため、私たちは環境保護にも貢献できます。」



ヘマラート社とWHA社は、いずれもタイ証券取引所に上場しており、ある程度の相互補完的の事業利益を有しています。

ヘマラート社としては、工業団地、インフラ、電力、および不動産のワールドクラスの開発を事業の柱とする戦略を今後も維持します。弊社は、工場用地と工場の契約数が964件、入居企業の総投資額が260億ドルを超える、国際的な基準を満たす工業団地とインフラを提供していることと大きな誇りを持っています。

「A」から「A」に変更されました。ヘマラート社とWHA社は、工業団地、インフラ、電力、および不動産のワールドクラスの開発を事業の柱とする戦略を今後も維持します。弊社は、工場用地と工場の契約数が964件、入居企業の総投資額が260億ドルを超える、国際的な基準を満たす工業団地とインフラを提供していることと大きな誇りを持っています。

「A」から「A」に変更されました。ヘマラート社とWHA社は、工業団地、インフラ、電力、および不動産のワールドクラスの開発を事業の柱とする戦略を今後も維持します。弊社は、工場用地と工場の契約数が964件、入居企業の総投資額が260億ドルを超える、国際的な基準を満たす工業団地とインフラを提供していることと大きな誇りを持っています。

「A」から「A」に変更されました。ヘマラート社とWHA社は、工業団地、インフラ、電力、および不動産のワールドクラスの開発を事業の柱とする戦略を今後も維持します。弊社は、工場用地と工場の契約数が964件、入居企業の総投資額が260億ドルを超える、国際的な基準を満たす工業団地とインフラを提供していることと大きな誇りを持っています。

「A」から「A」に変更されました。ヘマラート社とWHA社は、工業団地、インフラ、電力、および不動産のワールドクラスの開発を事業の柱とする戦略を今後も維持します。弊社は、工場用地と工場の契約数が964件、入居企業の総投資額が260億ドルを超える、国際的な基準を満たす工業団地とインフラを提供していることと大きな誇りを持っています。

「A」から「A」に変更されました。ヘマラート社とWHA社は、工業団地、インフラ、電力、および不動産のワールドクラスの開発を事業の柱とする戦略を今後も維持します。弊社は、工場用地と工場の契約数が964件、入居企業の総投資額が260億ドルを超える、国際的な基準を満たす工業団地とインフラを提供していることと大きな誇りを持っています。

CEO Talk
CEOトーク
2014年11月21日
お客様、投資家、事業パートナー各位
ヘマラート・ランドアンドディベロップメント株式会社
ヘマラート工業団地での屋上ソーラー発電プロジェクト6件のために合併会社を設立

ヘマラート社の主要株主のグループは、弊社全株式の22・53パーセントにあたる株式をWHAコーポレーション株式会社に売却する覚書（MOU）を締結しました。弊社創設時からの主要株主がこの株式売却を行うのは、74歳という高齢になり、事業利益を縮小したいと動機によるものです。

ヘマラート社としては、工業団地、インフラ、電力、および不動産のワールドクラスの開発を事業の柱とする戦略を今後も維持します。弊社は、工場用地と工場の契約数が964件、入居企業の総投資額が260億ドルを超える、国際的な基準を満たす工業団地とインフラを提供していることと大きな誇りを持っています。

ヘマラート社としては、工業団地、インフラ、電力、および不動産のワールドクラスの開発を事業の柱とする戦略を今後も維持します。弊社は、工場用地と工場の契約数が964件、入居企業の総投資額が260億ドルを超える、国際的な基準を満たす工業団地とインフラを提供していることと大きな誇りを持っています。

ヘマラート社としては、工業団地、インフラ、電力、および不動産のワールドクラスの開発を事業の柱とする戦略を今後も維持します。弊社は、工場用地と工場の契約数が964件、入居企業の総投資額が260億ドルを超える、国際的な基準を満たす工業団地とインフラを提供していることと大きな誇りを持っています。

ヘマラート社としては、工業団地、インフラ、電力、および不動産のワールドクラスの開発を事業の柱とする戦略を今後も維持します。弊社は、工場用地と工場の契約数が964件、入居企業の総投資額が260億ドルを超える、国際的な基準を満たす工業団地とインフラを提供していることと大きな誇りを持っています。

ヘマラート社としては、工業団地、インフラ、電力、および不動産のワールドクラスの開発を事業の柱とする戦略を今後も維持します。弊社は、工場用地と工場の契約数が964件、入居企業の総投資額が260億ドルを超える、国際的な基準を満たす工業団地とインフラを提供していることと大きな誇りを持っています。

ヘマラート社としては、工業団地、インフラ、電力、および不動産のワールドクラスの開発を事業の柱とする戦略を今後も維持します。弊社は、工場用地と工場の契約数が964件、入居企業の総投資額が260億ドルを超える、国際的な基準を満たす工業団地とインフラを提供していることと大きな誇りを持っています。

開発プロジェクトのハイライト ヘマラート社の賃貸用倉庫、東部臨海地域の 戦略的な立地条件、即入居可能。



一般ゾーン	免税ゾーン	積み降ろし用ドック トラック	コンテナ	合計面積 (㎡)	天井高 (m)	上げ床の高さ (m)	床荷重 (トン/㎡)	レムチャパン港 までの距離 (km)
HLP 1	✓	✓	✓	129,000	9~10	1.3~1.4	5	20
HLP 2	✓	✓	✓	115,000	10	1.3	5	27
HLP 3	✓	✓	✓	82,000	10	1.3	5	27
HLP 4	✓	✓	✓	50,000	10	1.3	5	30

2011年以來、ヘマラート・ランドアンドディベロップメント株式会社は、業界を拡大し、物流のあらゆる側面で弊社の顧客企業にサービスを提供するために、高品質の物流配送倉庫により構成されるヘマラート・ロジスティクスパークを東部臨海地域周辺4か所で開発しています。

工業用工場・ロジスティクスパーク担当取締役を務めるポイン・ハーンワニット氏は、「ヘマラート社の倉庫は、弊社の既存顧客630社に近いという魅力的な立地条件に加え、仕様が水準で、トラックとコンテナの両方に対応する柔軟性の高い荷役エリアを備えています。また、顧客の立場に立つて検討した建物

の構造は、自然光が十分に取入れられ、適度な換気も行われるように設計されています。」と述べています。

ヘマラートニュースダイジェスト

J-T ツーリング社、ヘマラート社との間で工場のリース契約を締結

ファイン・テック株式会社、AAP テクニック・パーツ株式会社とナワポール・エンジニアリング&サプライ株式会社の合併会社、J-T ツーリング株式会社は、ヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社が開発したイースタン・シーボード工業団地(ラヨーン)の賃貸工場のリース契約を締結しました。この工場が完成すると、J-T ツーリング社はさまざまな業界に属するワールドクラスの顧客からの需要拡大に対応できるようになります。



写真は、先日イースタン・シーボード工業団地(ラヨーン)で開催された契約締結式で、ヘマラート社のデビッド・ナードン社長兼CEO(左から4人目)とファイン・テック社の関根清社長(中央)が、J-T 社の賃貸工場リース契約締結を祝っているところ。同席者は同社の経営陣。

ヒサカ・ワークス(タイランド)社、ESIEでRBFリース契約を締結

食品・飲料、化学、自動車、金属、石油精製、医薬など広範囲にわたる業界で使用されるプレート式熱交換器の世界的大手メーカー兼サプライヤー、ヒサカ・ワークス(タイランド)株式会社は先日、ヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社が開発したイースタン・シーボード工業団地(ラヨーン)にある賃貸工場のリース契約を締結しました。同社の新工場は、電気水道等のユーティリティをはじめとした総合的なインフラ設備を完備しており、同社製品のメンテナンス工場として稼働いたします。



写真は、契約締結式でヘマラート社のデビッド・ナードン社長兼CEO(左から3人目)が、ヒサカ・ワークス(タイランド)社の吉田信一マネージャー兼ディレクター(右から4人目)と、ヒサカ・ワークス S.E.A 社のユージン・ライエンディンディンディン(右から3人目)と契約書を取り交わしているところ。

オンド・シンショー社、ヘマラート社の工業団地でワールドクラスの工場の開所式を開催

日本の自動車部品大手メーカーであるオノヨーコ工作所の子会社、音戸神商(タイランド)株式会社は、ヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社が開発したイースタン・シーボード工業団地(ラヨーン)で新工場の開所式を開催しました。高度な技術を採用したこの製造工場は、地域内の大手顧客の大規模な需要に応えるために、最新鋭の自動車部品を生産します。



写真は、ヘマラート社のデビッド・ナードン社長兼CEO(左側)が、日本の音戸工作所の加藤千明社長(右から5人目)と音戸神商(タイランド)社の名井伸一郎社長(左から5人目)と共に、親指を立てるジェスチャーをして、ワールドクラスの新しい自動車部品製造工場の完成を祝っているところ。

フクジュ・インダストリー社、ESIEで新工場の開所式を開催

日本に本拠を置く自動車用金属部品メーカー、フクジュ・インダストリー(タイランド)株式会社は先日、ヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社が開発したイースタン・シーボード工業団地(ESIE)で新工場の開所式を開催しました。この新工場により、フクジュ・インダストリー社は精密機械加工システムとプラットフォームを活用して顧客の需要を満たすことが可能になるとともに、新規市場への参入にもプラスとなります。



写真は、フクジュ・インダストリー(タイランド)社の高木重CEO(右から5人目)が新工場のリボンカットを行っているところ。この開所式にはヘマラート社のデビッド・ナードン社長兼CEO(右から2人目) 他が来賓が出席しました。

ヘマラート社、インダストリーズ・チョイス・アワードを受賞

ヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社が先日、年次総会(AGM)で、100点の最高点を取得した上場企業にタイ・インベスター協会から贈られるインダストリーズ・チョイス・アワードを受賞しました。ヘマラート社は、この栄誉ある賞を5年(2010~2014年)連続して受賞しています。このアワードは、AGMを通じて株主に対して卓越した貢献を行い、優れたコーポレート・ガバナンスを実施した上場企業に贈られるものです。



写真は、ヘマラート社を代表してインダストリーズ・チョイス・アワードの贈呈を受けるチャリット・セタマティーン取締役会長(中央)とサワティ・ホールナム執行委員会会長(右から3人目)、授賞式は、モンコン・リーラム会長(左から2人目)と、証券取引委員会の事務局長を務めるウラボン・ソカティアラック博士(左から3人目)のご臨席を得て、タイ証券取引所で開催されました。

ヘマラート RIL、エコ・インダストリアル タウン・プロジェクトに参加

ヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社が開発したヘマラート・ラヨーン工業団地(ヘマラート RIL)は先日、工業省工務局が開催した「エコ・インダストリアル タウン 2014」の開所式に参加しました。ラヨーン県とプラチンブリ県にある 5 つの工業団地が協力を行うこのプロジェクトは、工業団地の内部および周辺の環境を保護する取り組みの推進を目的としています。



写真は、エコ・インダストリアル タウンの開所式に出席したヘマラート社のラクポン・カンノイ工業団地運営担当取締役(左から2人目)。手で掲げているのは、工場跡のスクラップ・リサイクル局長(左から4人目)から贈呈されたエコ・インダストリアル タウンの標章。

ヘマラート社とESIE日本人クラブ、BOIからの来賓講演者を歓迎

ヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社が先日、タイ投資委員会(BOI) 投資マーケティング局の事務局長を務めるボングット・アヌロート博士(写真中央)を来賓講演者としてお招きし、講演会を開催しました。同博士の講演は「タイにおける投資家向けの投資奨励政策」というタイトルで、専門知識あふれる内容でした。ESIE 日本人クラブのメンバーはこの講演から貴重な情報を得ることができました。また、この講演会は BOI の政策と投資奨励、さらにはタイにおける事業機会について意見交換を行う好機ともなりました。



この講演会には、ヘマラート社経営陣のラダック・ロジャナウィライウッド工業団地顧客開発担当取締役(左端)とアンチャーニー・パーサーチャン工業顧客開発担当取締役(左から2人目)も参加しました。

バンコク銀行、ヘマラート工業団地のプラザ3に支店を開設

タイの銀行中最大の資産を有し、東南アジアで最大規模の銀行の一つであるバンコク銀行は先日、ヘマラート・イースタン・シーボード工業団地(ヘマラート ESIE)のプラザ 3 で新規支店の開店記念式典を開催しました。このヘマラート ESIE 支店は、個人と法人の両方を対象としてあらゆる種類の金融サービスを提供します。



写真は、開店記念式典でヘマラート社のシャバス・チャクチャイロート法人マーケティング・レジデンシャル顧客開発担当取締役(右から4人目)が、バンコク銀行の プラユット・ユンウォン中央地域 1 - 地方担当上級副社長(右から3人目)とその他の重役にお祝いの言葉を述べているところ。

テクノプラスト(タイランド)社、ヘマラートCIEで新工場の開所式を開催

日本に本拠を置き、プラスチック切削加工で自動車関連部品、半導体関連部品、検査治具等を高品質・高精度で製作するテクノプラスト(タイランド)株式会社は先日、ヘマラート・チョンブリー工業団地(ヘマラート CIE)で新工場の開所式を開催しました。新工場は最先端のテクノロジーを完備しており、アジア地域の顧客向けに高付加価値のプラスチック製品を生産します。



写真は、新工場の開所式でヘマラート社のアンチャーニー・パーサーチャン営業部長(左から3人目)が、テクノプラスト(タイランド)社の中村 明社長(右から2人目)に、国王陛下の肖像写真を記念品として贈呈しているところ。

キーズ・インダストリアル社、ヘマラート ESIE で新工場の起工式を開催

日本における希土類金属と金属化合物のキーズ・インダストリアル株式会社は先日、ヘマラート・イースタン・シーボード工業団地で新工場の起工式を開催しました。新工場は最先端の製造システムを完備し、一般消費者向けテクノロジーと産業用テクノロジーの両方に使用される最高品質の希土類金属製品や金属化合物を生産します。



写真は、起工式に出席したヘマラート社のラダック・ロジャナウィライウッド工業団地顧客開発担当取締役(左から2人目)が、片岡伸マネージャー兼ディレクター(右から2人目)と長谷川隆重役(右端)にお祝いの言葉を述べているところ。

日本精蠟(タイランド)社、ヘマラートESIE で新工場の起工式を開催

日本における石油ワックス製造最大手で世界的に有名な日本精蠟株式会社の子会社である日本精蠟(タイランド)株式会社は先日、ヘマラート・イースタン・シーボード工業団地で新工場の起工式を開催しました。最先端の技術と生産システムを備えた新工場では、ゴム、化学などさまざまな業界の顧客の間で高まっている需要を満たすために、高品質のワックスが製造されます。



写真は、起工式でヘマラート社のラダック・ロジャナウィライウッド工業団地顧客開発担当取締役(左から4人目)が、日本精蠟社の井上寛社長(右から4人目)と日本精蠟(タイランド)社の山本益司社長(右から2人目)にお祝いの言葉を述べているところ。

セキスイ・スペシャルティ・ケミカルズ(タイランド)社、ヘマラートEIEで新工場の起工式を開催

自動車、医薬、建設、ITなどの各分野で使用される高性能材料の大手メーカー、積水化学工業株式会社は先日、ヘマラート・イースタン工業団地(マブタブット)で第2工場の起工式を開催しました。12ライの敷地を占める新工場は、革新的な最先端技術駆使した設備を備え、アセアンおよび南アジア地域の顧客向けに高度な製品を製造します。



写真は、セキスイ・スペシャルティ・ケミカルズ(タイランド)社の新工場の起工式で、ヘマラート社のスワット・ティタナキネット工業団地開発担当取締役(左から2人目)が、積水化学社との興業先執行役員(右から2人目)にお祝いの言葉を述べているところ。

ヘマラート社、AMCHAMのイースタン・シーボード・プログラム&ネットワーキング・ナイトを後援

ヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社が先日、オーストラリア商工会議所(Austcham)、在タイ英国商工会議所(BCCT)、ドイツ・タイ商工会議所(GTCC)、オランダ・タイ商工会議所(Dancham)、ベルギー・ルクセンブルグ・タイ商工会議所(BELU)および南アフリカ・タイ商工会議所の協力のもとに在タイ米商工会議所(AMCHAM)が開催したイースタン・シーボード・プログラム&ネットワーキング・ナイトの後援を行いました。このイベントでは、セキュリティ上の懸念に関する講演、自動車協議会に関する最新情報の提供、東部臨海地域における労務問題に関する円卓討論会などのプログラムが実施されました。ヘマラート社のデビッド・ナードン社長兼 CEO は、東部臨海地域の道路網拡張に関する展望について講演しました。



写真は、ヘマラート社のデビッド・ナードン社長兼CEO(中央)と、在タイ米商工会議所(AMCHAM)が開催したイースタン・シーボード・プログラム&ネットワーキング・ナイトの関係者と来賓。ヒルトン・パタヤ・ホテルにて開催されたこのイベントには、多数のビジネスマンのほか、自動車協議会、セキュリティ/OSACなどの外国の商工会議所の会員が参加し、盛会のうちに終了しました。

ヘマラート社、地域自治体のリーダーと共にTISTRを訪問

ヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社が先日、バトゥムタニ県にある科学技術省のタイ科学技術研究所(TISTR)の見学ツアーを開催しました。この見学ツアーには、東部臨海地域の各地区自治体(SAO)の住民や職員など、ヘマラート社の近隣にある地域自治体から200名を超えるリーダー、職員、農業専門家、および地域住民が参加しました。ヘマラート社の重役と社員が同行したこのツアーでは、農業製品加工、バイオ肥料の研究開発、農業廃棄物の管理と付加価値製品などの各部門の見学が行われました。



写真は、ヘマラート社のシャバス・チャクチャイロート法人マーケティング・レジデンシャル顧客開発担当取締役(左側の写真/中央)が、地域自治体のリーダー、代表者、住民と共にタイ科学技術研究所(TISTR)を訪ねているところ。訪問団は、農業技術部のサヤン・タンパニット部長(左側の写真/中央)による歓迎を受け、研究所内をまわって見学しました。

ヘマラート社、英語を学ぶ機会を生徒たちに提供 教師奨学金プロジェクトを通じて

ヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社が先日、Wall Street English(WSE)プログラムを通じてタイ東部臨海地域の小学校教師5名に奨学金を給付しました。この教育プロジェクトは、教師の言語力を高め、はっきりと分かりやすくコミュニケーションを取るための自信をつけて、その言語力と自信を生徒にもつたせられるようにすることを目的としています。また、WSEから寛大な協力の申し出があり、もう1名の教師のための奨学金が寄付されたため、合計6名の教師が奨学金を授与されました。このプロジェクトは、米商工会議所(AMCHAM)とヘマラート社が共同で実施している「Adopt-a-School」プログラムの一環です。



写真は、ヘマラート社のデビッド・ナードン社長兼CEO(中央)、シャバス・チャクチャイロート法人マーケティング・レジデンシャル顧客開発担当取締役(中央左側)、および Wall Street English の Vincent Pourre 法人顧客担当マネージャー(中央右側)が、6名の英語奨学金受給者にお祝いの言葉を述べているところ。この6名は、ラヨーンにあるヘマラート社の工業団地で Wall Street English プログラムを受講することになっています。

ヘマラート社、プルアクデーデン警察署にオートバイを寄贈

写真は、地域社会の安全と保安の維持に寄与するために、ヘマラート・ランド アンド ディベロップメント株式会社のタニ・スプーンラン副社長(左から5人目)がプルアクデーデン警察署に5台のオートバイを贈呈しているところ。副司令官のソムタイ・カムワット警察大佐と、プルアクデーデン警察署の警視を務めるポンチャイ・カンベツ警察大佐がラヨーン県警察を代表して、寄贈されたオートバイを受領しました。



ヘマラート社、デュアル職業訓練を全面的に支援

2015年12月31日のアセアン経済共同体(AEC)の実施を間近に控え、タイは予想される課題と機会に対応するための準備を進めています。タイの産業部門は、新たな投資を促進する方策を実施することにより、他国に一步先んじる決意を固めています。

ヘマラート・ランド アンド デイベロップメント株式会社は、過去4年間、民間部門で高まりつつある熟練労働者の需要に応えるために職業訓練を行う「デュアル職業訓練(DVT)プログラム」を継続的かつ強力に支援してきました。ヘマラート社は、ラヨーン県にあるバンカイ専門学校と協力し、自社の8か所の工業団地の入居企業に対してこのプログラムへの参加を募り、Energy Automotive Systems(Thailand)Ltd.、American Axle & Manufacturing (Thailand) Co., Ltd.、Bangkok Eastern Coil Center Co., Ltd.の3社の協力を得ています。



ナードン社長兼CEOは、DVTがその利害関係者である学生、企業、地域社会、ひいてはタイ全体にプラスの影響を及ぼすことを見通しています。「ヘマラート社は、学生に実地研修の機会を与え、企業がそれぞれにニーズに応じて将来の社員を訓練する可能性をもたらす、この建設的なプロジェクトに参加できることを光榮に思います。東部臨海地域の自治体も、開発を進める上で数多くのメリットを享受でき、またタイもこの地域における工業分野のリーダーとしての地位を保つことができるでしょう。」とナードン氏は述べています。

DVT参加者の選考は、候補者の能力、動機、および学習に対する熱意に基づいて、専門学校と企業が共同で行います。参加者には、1ヶ月の訓練期間中、研修費用全額の奨学金と生活費が支給されます。高等専門学校機械科の学生、アムヌアイ・ワウエプラットさんは、「この実習は私が職業人としての



人生を開始する機会となりました。また、職業訓練コースを修了するまでの間、学費に関する不安も一掃してくれました。」と述べています。アムヌアイさんの同僚、タティナイ・パーチャイボンさんは、「学校で学んだことを現場で実習でき、しかも部署の監督者が傍らにいて指導してもらえます。同僚の皆さんに、普通の従業員と同じように接してもらえ、私も気に入っています。」と感想を述べています。

このプログラムに参加する企業も、非常に大きなメリットが得られます。このプログラムは、会社の今後のために必要となる若い労働者を訓練し、確保するためのコスト効果の高いソリューションとなる可能性があります。参加者の選考については会社の人事部が学校と直接、調整を行うため、資格条件や要件を完全に満たす人選が可能です。教室で行われるコースは理論に忠実に基づいて行われますが、DVTプログラムは柔軟性があり、しかもインタラクティブです。革新的な企業で働くことにより、学生は最も高度な機器を操作して最先端の技術に触れる機会が得られます。訓練が行われる企業では、実習生が最高レベルで能力を発揮しながら、リラック

発展のパートナー、ヘマラート

ワールドクラスの工業団地7ヶ所に650社以上のお客様が入居

タイの大手工業団地開発会社
工場立地に最適な東部臨海地域(ラヨーン、チョンブリ)とバンコク北部(サラブリー)に7ヶ所の工業団地を有し、500㎡~50,000㎡までの賃貸工場と物流倉庫をご用意しております。

ヘマラート・ランド アンド デイベロップメント株式会社
TEL: 662 719 9555 電子メール: marketing@hemaraj.com
Web サイト: www.hemaraj.com

HEMARAJ
ワールドクラスの工業団地開発会社



Bangkok Eastern Coil Center社のミツイ・コウゾウ取締役によると、若い参加者にとって、安全性や環境などの企業の懸念事項について学ぶことは重要です。なぜなら、どの会社もそれぞれ異なっているためです。このプログラムによって企業文化に自らを慣れ親しませることができ、これが、このプログラムが非常に充実した体験となる理由の一つです。「弊社の人事チームは、実習生の



社会との間に好ましい関係ができ、親しみやすい労働環境が整えられています。学校側は各学生の訓練の進捗を詳細にモニタリングし、学生がこの経験から最大のメリットを得られるよう努めます。過去数年間にわたり、多数の実習生が実習先企業に忠誠心を持ち、正社員となることを希望しています。また、税制面でもDVTには恩恵があり、課税控除が行われるため、企業にとってはそれら一つのメリットとなります。

Energy Automotive Systems (Thailand)社のマネージング・ディレクター、Geetha Boussein氏は、「弊社の6名の実習生はさまざまな部門で広範囲の技能を習得し、それと同時に同僚とも知り合うことができるように、定期的に部署を交換しています。各部署の監督者はこれらの学生の指導役を果たしており、各学生は学校で学習した内容を現場に適用することに熱心に取り組んでいます。弊社では、学生の親たちが子供の学習内容をみることで、できるうちに、工場のオープンハウスを開催しています。弊社は地域

面倒をよく見て、彼らのことを誇りに思っています。また、友人や同僚にこのプログラムを紹介し、参加を促しています。私たちは、このプログラムに貢献している指導役と会社に対して実習生が示す敬意についても喜ばしく思っています。

ヘマラートニュースダイジェスト

ヘマラート・アート・キャンプ タイの若者の創造性向上に貢献

ヘマラート・ランドアンドデイベロップメント株式会社は先日、ラヨーン県とチョンブリ県にある14の学校で学ぶ小学生を対象にアート・キャンプを開催しました。このアート・キャンプは、美術に対する児童の興味、関心を高め、自己表現を奨励することを目的としたものです。

このワークショップでは、子供たちが美術の基本的な原理を学び、タイの文化と歴史から発想を得て、各自の創造性と想像力を生かす取り組みに挑戦しました。このアート・キャンプは、恵まれない子供たちが美術的な表現力と技能を育むためのまたとない機会となりました。

写真は、ヘマラートのシャバス・チャンチャイロート法人マーケティング・レジデンシャル顧客開発担当取締役(後列中央)と、アート・キャンプに参加した14校の小学生たち。



ヘマラート社、清潔な水を提供 ラヨーン県マブ・チャルド・チャックラン地区の住民に

ヘマラート・イースタン工業団地(マブタブット)、ヘマラート EIE のイースタン安全・環境クラブ(ESEC)は先日、ヘマラート EIE 入居企業のボランティア、社員、地域自治体の職員および住民による協力を得て、マブ・チャルド・チャックランにあるウィッタヤコム学校に油圧ポンプを寄贈しました。この持続可能な開発プロジェクトは、遠隔地の農村地域に清潔な水の利用手段を提供することを目的としています。



ヘマラート社、第25回献血キャンペーンを実施

ヘマラート・イースタン工業団地(マブタブット)の安全・環境クラブ(ESEC)は先日、ラヨーン県赤十字協会と共同で、第25回目となる献血活動を実施しました。従業員、入居企業関係者や工業団地周辺の住民を含む、146名の献血者により、合計6万5,100ccの献血が行われ、ラヨーン県のさまざまな病院で治療を受けている患者に役立てるために、タイ赤十字協会に血液が寄贈されました。



パンカイ専門学校のカモン・チュムチャルーン校長は、「私たちは、ヘマラート社というパートナーを得ることができて幸運だと思います。なぜなら、私たちは同じ目標を共有しているからです。」と語っています。「高度な基準と優秀さの追求を学生たちに伝える実習受入企業を見つめる上でのヘマラート

に参加した学生は、社会人としての足場を固めることができました。適切な技能と専門分野の豊かな経験を得ることにより、学生たちは自らが地域社会に変化をもたらすことができ、将来のタイ経済に確固たる貢献が可能だという事実を誇りを持つことができました。

「実践的な訓練では、指導役が密接な監督を行い、実習生の能力を新たなレベルに高めます。私は、この実りあるプログラムへの参加を他の企業にも強く勧めたいと考えています。」

面倒をよく見て、彼らのことを誇りに思っています。また、友人や同僚にこのプログラムを紹介し、参加を促しています。私たちは、このプログラムに貢献している指導役と会社に対して実習生が示す敬意についても喜ばしく思っています。

ヘマラート社では、DVTプロジェクトの研修パートナーとなる企業の募集を新たに開始します。本プログラム、学校、カリキュラムまたは要件の詳細については、お電話(02 719 9555)または電子メール(fasali@hemaraj.com)にて担当のMs. Faisa Finchamにお問い合わせください。

社に役割についてもありがたく感じています。私たちは、ニーズ、手法および目標を見極めて最も実りある実習制度を実現するために協力し合ってきました。」

ヘマラートで更なる飛躍を目指す企業

サンヨーエンジニアリング(タイランド)

自動車用部品のプレス金型製造



顧客の側であらゆる難題を解決する 心強いパートナー

タカハタプレジジョン(タイランド)

精密プラスチック部品の製造販売



一貫生産体制で、 顧客のニーズに心と技術で応える

サンヨーエンジニアリング(タイランド)は、2013年10月にタイ現地法人を設立。翌14年6月から操業を開始し、ヘマラート・イースタン・シーボード工業団地で金型製造やプレス加工を、主に自動車産業向けに行っています。同工場は、浜松市の本社で約50年に渡り精密加工製品を製造してきたサンヨーエンジニアリング社にとって、栃木県さくら市の工場と並び、グループの重要拠点となっています。

グループ初の海外拠点をマネージメントする山本健詞GMは、これまで日本とタイで金型製造に深く取り組んできました。同GMの有する金型についての高い専門性と深い知見は、現在、顧客の金型に関する問題を解決する際に、大いに役立っています。

山本GMは自社の強みを、「高い専門性」と「迅速な対応力」であると述べます。金型製品を見る事で、同時に問題点も指摘出来る同GMは、顧客が問題を抱えた時の自社の対応力を重視します。緊急の案件や予期せぬアクシデント、さらに電話やメールでは伝えにくい問題などが、顧客の元で生じた際、直ぐに駆けつけられる体制を同社は整えています。

「解決に時間を掛けない」、「分析する事が得意でないタイ企業が多い中で、それを得意としている」と、自社の強みを同GMは分析しています。そういった同社の課題解決能力が、取引先各社の事業を支えています。

その高い課題解決能力は、同社の揺るぎない技術力があって成り立っていると言えるでしょう。

浜松市の本社では、試作品用金型製造や部品の素材について、ウルトラハイテン事業化研究会にも入会して共同で研究開発を行い技術革新に尽力しています。また、部品の大型化や軽量化に対応した大型深絞りプレス金型を得意とするサンヨーエンジニアリング社は、浜松工場で500トン大型プレス機を導入し、最新設備による納期短縮を強化しています。それらの浜松本社の競争力向上のための技術開発や取り組みは、タイの事業展開において活かされています。

付加価値のあるサービスを、日本同様提供する同社は、数ある工業団地の中からヘマラート・イースタン・シーボード工業団地を優先に決定した理由に、①顧客への近さ、②即入居出来た事、そして③インフラの充実度を、挙げています。

「迅速な対応力」を強みとする同社にとって、顧客との至近距離は欠かせない重要なファクターでした。また、現在1100平方メートルのレンタル工場で操業する同社は、ヘマラート社が提供する多様な選択肢の中から、自社にとって最適な条件の工場を選定しました。柔軟な同工業団地のサービスを有効に活用しながら、3年後には自社工場が、同社は目指しています。さらに、停電が少ない、強度な地盤で洪水の心配が無い、拡張した道路が整っているヘマラート工業団地のインフラの充実度は、他とは異なり、また手厚いサービスや支援が、大変頼りになっていると山本GMは話します。

高い技術力によるサービスに限らず、環境への配慮や社会貢献に関しても日本と同じく実践する同社は、今後は、自動車産業以外の分野へも取引先を拡大してゆきます。そのためには実績の積み重ねと、更なる信

2011年12月にヘマラート・イースタン・シーボード工業団地に進出が決まり、2013年3月から操業を開始したタカハタプレジジョン(タイランド)は、精密プラスチック部品の製造販売を自動車産業向けに行っています。ユタヤの同社工場がOA機器や光学機器などの顧客への製造販売であるのに対し、ライオンの当工場では四輪車の、燃料ポンプ、ステアリング、ワイパー、ヘッドランプ、オイルフィルター、トランスミッション、ドア、燃焼システムやオーディオなどに関わるパーツ。また二輪車のABSや燃料ポンプなどのパーツのプラスチック射出成形を、開発・設計から金型・成形・組立まで一貫体制で行っています。

同社の望月和弘アジア地域統括(写真左)は、1995年のタイ赴任から今日に至るまで、成熟してゆくタイ市場で、取引先顧客の発展成長に貢献しながら自社の基盤を築き上げてきました。従業員を「人材」と位置付ける同社は、人材と技術の現地化に力を入れています。約20年間、望月統括と二人三脚で一緒に事業に取り組んできたワッターナ氏(写真右)が、今年の7月にタイ法人の社長に就任しました。人材育成の体系をグローバルに整備した同社は、経営理念の「人材立社」をタイで実現しています。

1991年のタイ進出から23年あまりに及ぶ同社のモノづくりの蓄積には、歴史の重みを感じられます。一方でまた同社はスピード感も持ち合わせています。

本社の山本康雄CEO兼COOは、2011年のタイ洪水の際、ユタヤ地区の同社工場の被災状況を現場でつぶさに確認していました。同地域が災害を免れなかった後も、山本CEO兼COOはタイに残り、陣頭指揮を執り工場の移転を速決しました。今日の同社の生産量と産業界への貢献度を見ると、災害当時のトップの行動と決断が、窮地を好機に変えたと言えるでしょう。

ヘマラート・イースタン・シーボード工業団地を工場設立地に選定した理由として、安全・安心を重視する同社は、自然災害からのリスク回避の他に、取引先各社と近い同工業団地の立地条件の良さを述べます。またヘマラート社の手厚いサポートも決定要因のひとつでした。

同工業団地のラヨーン工場設立の舞台裏では、あらゆるドラマが繰り返

広げられましたが、同社は現在、7カ国・14工場を操業しグローバル展開をするTAKAHATAグループの中で、中核をなす現地法人になっています。成長しスケールメリットを活かせる様になった今日も、望月統括は、自社の特長として「小回りの利く機動力」を挙げます。それは顧客目線でビジネスを展開し、信頼関係を大切にする同社の方針が、背景にあるためです。また望月統括は、従業員への声掛けを習慣化しています。コミュニケーションを大切にしながら、モノづくりは人づくりであるという理念を統括自らが体現しています。

持続可能な成長を実現するための世界的な取り組みである、国連グローバル・コンパクトに参画している同社は、「社会貢献活動」を2008年より会社方針のひとつに掲げています。社員各自が主体的に参加する様々な活動の成果は、タイ工業省から高く評価され、

2011年から4年連続して「CSR D I W賞」を受賞しています。

エンジニアリングプラスチックのリーディングカンパニーであるタカハタプレジジョン(タイランド)は、更なる飛躍を目指し今後も、技術と品質と人材を軸としたモノづくりを通じて社会に貢献してゆきます。

